

天塩町地域おこし協力隊 活動報告 2016（平成 27 年度） 2 月～ 3 月（役場 協力隊 稲垣）

第 11 回留萌・元気づくりセミナー（2 月 10 日）



留萌信用金庫本店にて留萌信用金庫・北海道留萌振興局が主催のセミナーに出席しました。
『全国の例を通じて学ぶスマホ対応とネットショッピング成功の秘訣』と題して、株式会社 E ストアー 地域開発部 飯島 直樹氏より、昨今普及が進むスマートフォン に対応した web ページの作成が求められること。また、付加価値をつけて既存の商品とは違う唯一性・ユニーク性をアピールをすることが重要である、という話でした。

天塩川フォーラム 2016 同時開催：真冬のスローカフェ（2 月 14 日）



士別市で行われたテッシ・オ・パツ賑わい創出協議会主催のフォーラムに、天塩かわまちづくり検討会委員の皆さんと参加してきました。

今回は三重県松坂市にある松浦武四郎記念館の元名誉館長 高瀬英雄氏による講演、有識者 4 名による松浦武四郎についてのパネルディスカッションが行われました。

蝦夷地というと間宮林蔵が思い浮かべられますが、武四郎が天塩川流域に入ったことで今の「北海道」という名前があり、また当時の蝦夷地の人々の生活を記録し、分かりやすい形で出版した業績は非常に大きなことであると思います。

2 年後の 2018 年で北海道命名から 150 年目を迎えます。町の歴史は 150 年も経っていないため、本州と比較すると歴史は浅いですが、だからこそ北海道に暮らすものとして自分たちの居住地域の歴史を学び、後世へと残していけるかどうか重要であると感じました。

地域の魅力を活かした教育旅行受入に関する研修会（2月17日）



札幌市で行われた研修会に参加してきました。

前半は、早稲田大学 教育総合科学学術院教授 宮口 侗迪氏による「子どもたちを育む農村の価値と役割について」という基調講演から始まり、株式会社すぼーとぴあ 安田氏、有限会社アグリテック 中田氏、株式会社ノースプロダクション 近江氏の三方による事例発表。

後半は、司会進行にまちづくり観光デザインセンター代表のかとう けいこ氏を据えた、先ほどのお三方によるパネルディスカッションが行われました。

研修会内容を要約するなら「中～大学生を農家にファームステイさせ、就業体験、農家の人々との交流機会をもち、そこでしか得られない経験・感動を体験してもらおう」ということです。

自分は都会の学生が田舎に来て、交流を持つということは非常に有益であると思っていて、自身も天塩町にきて一次産業に触れる機会が増え、普段使う食材にかかっている手間やありがたみをヒシヒシと感じています。田舎の方々は現場の人々でもあり、実際に彼らと交流を深めることで、ただ単に観光するだけでは味わえない経験を得ることができます。

また、田舎の方々にとっても若い人が来ることによって、エネルギーを貰えたりと双方にとって良いことなのではないかと思いました。

天塩町老人福祉センターでのヴァイオリン演奏（2月23日）



天塩町老人福祉センターにて、協力隊・稲垣がヴァイオリンを弾かせていただきました。

非常に緊張していたものの、町民の方々に喜んでいただけて嬉しく思いました。

第 21 回 かわまちづくり検討会（2月26日）



年度最後となるかわまちづくり検討会。

今回は、幌延町に新しく入られた協力隊の方々も交えての開催。

天塩町河川公園付近のハード整備について、それに伴うフットパスについて、また今後のかわまちづくり検討会のあり方について話し合いが行われました。

かわまちづくりも長い回数重ねていますが、実現していることもある反面、話が同じところを何周もしている面もあり、今後は実現にむけていかに動いていけるかが重要であると感じました。

また、この日は技術コンサルの方が所有していた天塩松のヴァイオリンが登場。心地よい低音でした。

MIZBERING JAPAN 2016（3月3日）



渋谷ヒカリエで行われた MIZBERING JAPAN 2016 に参加してきました。

MIZBERING 天塩会議については平成 27 年度 9 月～ 10 月の協力隊活動報告を参照お願いいたします。

ミズベリング・プロデューサーの山名 清隆氏、国土交通省 河川環境課の田中 里佳氏によるオープニングトークに始まり、何点かの水辺と絡めた活動や先進事例発表、台本なしで提示されるキーワードを元に話を進めるインスパイアトーク等が行われました。

トークの中で「水辺と地方創生」といったテーマがあり、「川は上流から下流まで流れているので市町村が連携する要素がある」という話がありました。国を始め、自治体が現在かかっている広域連携という目標とも合致するわけです。その代わり川というどこにでもあるものですから、そこにどう魅力づけをしていくかが重要になってきます。

天塩川は雄大すぎるがゆえに触れ合うことは中々難しいのですが、かわまちづくりなどの活動をきっかけに水辺と人々の距離がより近くなり、そこから新しい発想や活動、魅力の再発見がおこっていくのではないのでしょうか、非常に期待が寄せられます。

地域おこし協力隊研修会 in 天塩 と 試食交流会 (3月6日)



天塩町社会福祉会館にて「地域おこし協力隊と地域のあり方を考える」と題して研修会を行いました。

天塩、幌延、中川、遠別、初山別の現役協力隊、任期を終え、地域に定住された協力隊 OBOG、関心のある町民の方々が参加。元協力隊の小田島氏（現幌延教育委員会）、塩見氏（現 NPO えんべつ地域おこし協力隊）、菅原氏（現天塩町役場）にパネリストをお願いし、コーディネーターに現石狩市協力隊の沼倉氏を迎えました。

行政・地域・協力隊自身が思い描く協力隊のあり方というのは違っており、協力隊自身も " どうあればいいのか " ということは見えにくいものであると思います。地域おこしに正解はなく「地域は変えるべきでなかった」というパネリストの方の言われたことに衝撃を覚えることも。

今回はあまり手を広げすぎず少数で行ったこともあり、密度の濃い会となったのではないのでしょうか。こういった会は開催後が重要ですから、出来た繋がりを糧にして何かしらの形で連携へと結びつけば良いと考えています。

研修後は試食交流会があり、鮭の山漬を使った三平汁、サクラマス押しの寿司を試食。天塩の地場食材を使った新たな特産品としての可能性を探りました。非常に美味しかったです。

第3回 天塩町フェスタ (3月13日)



3月13日天塩町社会福祉会館にて第3回天塩町フェスタが開催されました。

このイベントは、かわまちづくり検討会から町民有志によって立ち上げられた「天塩町フェスタ実行委員」という組織によって運営・実施が行われており、協力隊もそこへお手伝い。

当日は朝から降雪、突風という隙を生じぬ2段構え。

人足が鈍ってしまうことを懸念していたものの、開場ししばらくすると多くの方が来られました。

今回のフェスタの目玉は食工房おると（名寄市）さんによる1 day ランチバイキング、地域・地域周辺の素材をふんだんに使った料理は、多くの方々に満足していただけたようです。

他にも、北限のカシワを活用したコマ作り体験、昔ながらのせんべい焼き器による体験コーナーといった昔遊びから、新感覚アトラクション『しじみタワーコンテスト』も想像以上の盛り上がりを見せ、地元の方々、天塩高校生徒などの協力もあり、フェスタは盛況に終わりました。

第 20 回 道北の地域進行を考える講演会（3月18日）



名寄市にある名寄市立大学にて行われた講演会へ参加してきました。

講演者は豊富温泉もりあげ隊 代表の林 明日美氏、餅カフェ & ステイ我が家 経営 兼 豊富温泉もりあげ隊の堂脇 聖美氏による講演が行われました。

豊富温泉もりあげ隊メンバーは、湯治のために全国からやってきた移住者からなり、豊富町民・湯治にやってくる人々にとってより魅力の場となる活動をするという目的で結成されたそうです。

昨年はスキーオフシーズンである夏にスキーロッジを活用した夏カフェや、つなぐ市というイベントを行ったそうです。

後半は、naniro 工房代表の黒井 理恵氏による講演。誰かが最初に大きなリスクをとることによって、小さなリスクをとれる人が現れてくるという話に非常に共感。

町内で生まれた発想を潰してしまうのではなく、そういったチャレンジを応援し、勧めていくような雰囲気、文化が町のなかで形成されていくことで、参加するだけでなく、自分で始めようという人々が出てくるのではないかと思います。

年度末を迎えて

年度が変わり、スポーツ振興の協力隊であった河上氏が協力隊を卒業。任期後も天塩町で活動を続けられ、定住へ向けての可能性を探られるそうです。

また、4月からは観光商工課へ2名の協力隊が着任されました。

私事ですが、所属が総務課に移りましたが、観光企画どちらも行います。

今後も、定期的に協力隊活動報告を行っていく予定ですので、よろしくお願いいたします。

(2 月)

活動報告

スポーツセンター 協力隊

スキー場業務



2か月間のスキー場業務を無事終わりました。

残念ながらスキー大会は中止になってしまいましたがスキー場の圧雪やリフト係をやらせてもらい充実した毎日でした。

ヨガ教室・ストレッチポール教室

今年度、月1回ずつ開催している教室です。寒いと運動するのも面倒になってしましますがいつも来てくださる方々は元気に参加されていてこちらが元気になった気がします。



(3月)

天塩町フェスタ

第3回天塩町フェスタにて豊富町の中島まなみ先生とペアストレッチを担当させていただきました。ペアで行うとより体が伸びるのがいいところですが、お互いの呼吸も合わせることも大事で意外と難しくもあります。終始楽しみながら体を動かすことができ、とてもいい機会になりました。



稚内から遥々お越しいただき、フラダンスの基礎を教えていただきました。

当日は定員いっぱいの20名の方々に参加していただき大盛況でした。今後もフラダンスなど健康増進活動の幅を広げていきたいなと思っています。

スポーツジムで行われている各種運動教室の視察

札幌市にあるスポーツジムで行われている運動教室に視察を兼ねて参加してきました。「ストレッチ」「ビギナーエアロビクス」「体幹トレーニング」「高齢者運動教室」に参加してきましたがどこも年齢層の幅が広くとても活気がありました。

新しい知識も吸収でき、とてもいい機会となりました。

ヨガ教室・ストレッチポール教室

毎月1回ずつ行っていた教室も今年度最後の教室となりました。雄信内でのストレッチポール教室では初めて来られる方もいて感謝です。



3月末で協力隊として3年の任期を終えました。振り返るとあっという間の3年間でたくさんの方々に会い協力も得ながらやってこれました。健康増進やスポーツ振興ということで手さぐり状態のまま3年間が終わってしまった感があり中々皆さんの思っているような「地域おこし」とまではいきませんでした。たくさんの方々に助けをもらいながら協力隊としての任期を全うできたことに感謝しています。ありがとうございました。